

川村花菱 おはむらぎ 劇作家。明治十七年（一月）二十一日東京生れ、昭和二十九年九月一日歿（二八四一九益）。本名久輔（正平と号）。明治四十二年早稲田大學文學部英文科卒。在學中から劇評、脚本を發表。藤澤溪（二郎）東京市立東谷能演習学校教員、上野劇場演出家、藝術座文藝部を經て新派劇の脚本、演出に當る。

著書『川村花菱脚本集（第一卷）』（大正十一年四月、二十五日金星堂）、『文壇の漫談・思ひもよらぬ話』（今著・本間晴編、昭和五年六月二十日田中書房）、『上演用脚本集』（編、昭和十八年九月二十日清水書房）、『母二人』（昭和二十四年七月、二十五日北光書房）、『隨筆・松井須磨子』（昭和四十二年一月五日青蛙房「青蛙選書」）等。